

2019年度

# 学校経営方針

チーム上賀茂

**組織で動く。**

**持続可能な取組を丁寧に進める。**

**見通しをもって、計画的に進める。**

**児童の自己指導力を高める。**

**保護者への寄り添いを大切にする。**

～子ども達の安心・安全・健康・元気・笑顔のために～

平成31年4月

京都市立上賀茂小学校

2019年度

## 学校経営の基本構想

### 学校教育目標

『 自分で考え 正しく判断し 進んで行動する子どもの育成 』

### 目指す子ども像

#### 考える子

- ・よく見て、しっかり聴き、自分の事として考えることができる。

#### 判断できる子

- ・知識や経験を活用し、違う考えを認め合い、正しく判断できる。

#### 進んで行動できる子

- ・目標達成や課題解決に向けて、自分で決めたことに自信と責任をもち、進んで行動できる。

求めたい具体的な子どもの姿 できていることを認め、できていないことについて反省を促す。

- \*自分から気持ちの良い挨拶をする。
- \*落とし物を減らす（無くす）。
- \*履物を揃える。
- \*時計を見て、時間を守る。
- \*廊下や階段は、走らず、原則右側を歩く。
- \*教室移動は静かに行う。

### 学校教育目標を具現化する教職員の姿

- \*常に寄り添い、促したり時間やヒントを与えたりしながら、児童の「自己指導力」を高める。
- \*指導や注意の際、頭ごなしに叱りつけるのではなく、児童に「なぜ」を考えさせ、理解させる。
- \*集団の中で個人を叱責せず、「どうすればよかったか」「今後どうしていくか」を考えさせる。
- \*報告・連絡・相談を徹底する。(学年・部内で、管理職へ) Ex. 朝の保護者とのやりとり
- \*学年・学校運営に進んで参画し、短いスパンでの振り返りを大切にしてマネジメントする。

### 望ましい組織の姿

- \*日常的に、子どもの見取り（特に成長面）を話題にして、気軽に喋ることができる。
- \*気付きや思いを声に出し合い、拾い合うことができる。
- \*確認の声を掛け合い、ケアレスミスを減らす（無くす）ことができる。
- \*情報の共有化を漏れなく行うことができる。
- \*個人ではなく、『部』や『学年』で受け取り、練り上げ、丁寧に発信することができる。  
部会 → 企画委員会 → 職員会議 を効果的に連動させる。

### 3 1年度 重点課題

#### 1. 学力向上・・・『学校力』で伸び代をどこまで底上げできるか。

- \*教務主任・研究主任を中心にプロジェクトチームを立ち上げる。
- \*30年度の分析を生かして効果的な手立てを打つ。
- \*自学自習の力をつける。・・・家庭学習の見直し及び情報交換，家庭への働きかけ
- \*P D C Aサイクルを機能させ，ムダを削ぎ落とす。  
「残すもの」「割愛するもの」「変更するもの」etc.

#### 研究・・・「特別の教科 道徳」

- \*30年度の成果と課題を生かして

#### 若手研・・・授業力向上

#### 外国語活動・・・「支部英語教育推進校」(前年度情報)

- \*校内研修 ①教員研修  
②授業を伴う研修
- \*支部授業公開(中学年1回・高学年1回)

#### ◎低学年をどうするか検討

Ex.ねっこタイムを活用して『英語ウィーク』を設定する。(15M×3)

#### 接続・連携・・・年間計画に組み入れ，見通しをもって取り組む。

- \*就学前施設等との接続・・・スタートカリキュラムの作成，実践
- \*中学校との連携・一貫・・・夏期合同研修，連絡会，部活動体験

#### 2. 働き方改革

- \*出退勤管理システム全面実施・・・出勤時，退勤時の一連の動きを習慣にする。  
メールや掲示板の活用
- \*週案の活用・・・「時数確保」「見通し」「見直し」
- \*健康に留意・・・持続可能な，無理の少ない取組・計画にする。
- \*学年会をキープ(火曜日)・・・計画や見通しを確実に共有する。
- \*会議・研修の効率化・・・終了時刻を設定して計画・実行する。  
職員会議のペーパーレス化に取り組む。

#### 3. 指導・支援の必要な児童・家庭への対応(LD等・虐待・不登校・登校しぶり etc.)

- \*毎朝の受け入れ態勢を整える。(できるだけ早く教室へ！)
- \*学年・部会・学校全体での情報共有を漏れなく確実にを行う。
- \*S C・S S W・関係機関(Ex.運営協議会・児相・はぐくみ室・警察)との連携を図る。
- \*保護者への寄り添い・・・「個別の指導計画」の活用，丁寧なやりとり，普段のつながり
- \*育成学級の指導支援，交流および共同学習の充実
- \*児童への「児童理解」発信および取組・・・いろいろな特性や条件を認め合えるように！

**学習スタンダード** 「活用」を念頭に置いて、主体的、対話的で深い学びの実践を！

- (1) 「つきたい力」を明確に！
  - \* 「これができるば○」を具体的にもっておく。
- (2) 「出口でのあるべき姿」を具体的に！
  - \* 児童に示して学習への期待感をもたせ、意欲の継続を図る。
- (3) 「めあて」と「ふりかえり」を連動させて！
  - \* 「ねらい」の押し付けにならないように。
  - \* 「ふりかえり」が次時に生きる実感をもたせる。
- (4) 児童のアウトプットの活動を一層充実させる！
  - \* 「何を」「いつ（どのタイミングで）」「どう」アウトプットさせるか。
- (5) 自学自習への働きかけを意識して！
  - \* 手引き作り、宿題の再考・相談、アイデアの紹介、成果の発信 etc.

**仕事スタンダード** 達成感と疲労感のバランスを考えて、心身の『健康維持』を！

- (1) 見通しをもって計画的に。
  - ① 見通し・・・学期、月、週、日、単元、1時間、外部との関わり etc.
  - ② 時間・・・早くても7時30分出勤  
19時「電話対応終了」・19時30分「退勤」
  - ③ きりをつける。
- (2) 子どもの見取り・見守りを的確に。
  - ① 徹底的に指導の言葉を選ぶ。(暴言の徹底排除)
  - ② けがやもめごとは必ず連絡(学年・管理職・保健室・家庭)
  - ③ 1つ叱れば、2つ3つほめる、認める。(自己有用感・自己肯定感)
- (3) 保護者との関わり・支援を丁寧に。
  - ① 普段を大切に！(家庭訪問・電話連絡・連絡帳のやりとり)
  - ② 徹底的に聴く！(「受け取ってもらえた」と思ってもらえることが第1歩)
  - ③ 家訪・電話連絡・来校を効果的に使い分けて！

**環境スタンダード** 無駄を減らして必要な所に予算を投入して過ごしやすさへつなげる！

- (1) 教室・廊下の構造化、ユニバーサル化、安全の徹底
  - \* 子どもの動線や学習効果を考えて機能的&効果的に！ Ex. 掲示物
  - \* 前面掲示板は極力シンプルに！(黒板の上は何も無し)
  - \* 時計や学校教育目標の掲示位置は、全学級で揃える。
  - \* 窓の位置に上がることのできるもの(ロッカー等)は、窓際には置かない。
- (2) ごみの分別&減量と節約
  - \* 取組の計画段階から意識して！ Ex. 図工
  - \* コストダウンに努める。Ex. PCの電源(職員室・教室)、カラーコピー etc.
  - \* 児童も教職員もの意識を高める！
- (3) 働きやすさ
  - \* 職員室の構造化を図る・・・Ex. ロッカーや棚の整理 → 機能的に！
  - \* 個人情報保護の観点から、児童・保護者の入室に制限をかける。→ 周知
  - \* 置き場を確定して現状復帰を徹底する。→ ものを大切にする(使う)